

啓発活動報告

千葉県骨髓移植推進協議会 3月23日(木)

17年3月23日(木)、千葉県教育会館で16年度の千葉県骨髓移植推進協議会が開催されました。同協議会は、91年12月に骨髓移植推進財団(当時)が設立されたとき、厚生省(当時)から各都道府県へ設置の指導があり、千葉県では92年11月に設置されました。目的は「骨髓バンク骨髓移植に関する理解と骨髓提供者の確保を図り、骨髓バンク事業の円滑な推進について協議を行う」ことです。委員は「医療の専門家3名、関係団体代表3名、行政機関職員3名の計9名」で構成されます。当会は「関係団体の代表」で設立時から会長が参加しています。会議は、毎年3月に開催され傍聴ができます。傍聴希望の方は千葉県のHPに会議案内が出ますので、添付されている「傍聴要領」に従って申し込み、許可を得ます。また、議事録がHPに掲載されますので検索して見てください。

さて、今回の会議の議事ですが、薬務課から①骨髓バンク推進事業実施状況及び現状について ②さい帯血バンク事業の現状について ③平成29年度骨髓バンク推進事業実施計画(案)について 以上の報告があった後、千葉の会から④千葉骨髓バンク推進連絡会の活動について 30分間報告し、委員会に次の要望をしました。

- ◆献血併行登録会の在り方 ◆ドナー助成金の推進 ◆ケア帽子製作への支援 ◆若年層へのドナー登録推進
- ◆「コンサートと落語会」への支援

(梅田)

全国骨髓バンク推進連絡協議会の関東・甲信越ブロックセミナー報告 3月18日(土)

去る3月18日浦和市にて、加盟団体である東京、神奈川、新潟、埼玉、千葉の代表、及び全国協議会が参加して、ブロックセミナーが行われました。

1. 事務局から国会議員による超党派的な骨髓・臍帯血バンク議員連盟の総会報告がありました。内心、千葉県議会にもこのような組織が誕生すると良いなと思いながら聞いておりました。
2. バンク登録の若年層拡大の所で、沖縄での多くの高校における登録会開催の情報があり、もう少し調べ、参考にしたいなどの意見がありました。
3. 移植推進法の改訂要望について意見交換をしました。骨髓提供をしやすい環境の整備の明記、地方自治体の役割の明確化、日赤さんのより積極的なかわり方などの意見が出され、全国協の5月総会までに何らかの要望をまとめる方向になりました。また、各加盟団体からの活動報告があり、その後懇親会で親交を深めました。(溝口)



ブロックセミナー



東京学館船橋高等学校吹奏楽部第18回定期演奏会でのパネル展 3月25日(土)

私どもが貴会とお付き合いが始まったのは、平成17年に東京スクールオブミュージック専門学校の高校生部活動支援プログラムでお世話になった事から始まります。そのプログラムでは、一流の講師の先生に合宿に来ていただいたり、同校の学生さんと合同演奏の機会を与えていただいたりと、極めて充実した時間を過ごすことができました。そして一緒に演奏した学生の方々が創り出す同校のミュージカル「明日への扉」にご招待いただき、そこで骨髓バンクと夏目雅子ひまわり基金の活動を知る機会を得ました。当時、このミュージカルを見た本校の生徒たちがとても感動し、自分たちにも何かできないか、という声が上がりました。そこで東京スクールオブミュージックの担当の方に私たちの演奏会でもキャンペーン活動をしたい旨を相談したところ、貴会を紹介していただいた次第です。その後貴会から良いご返事を頂き、その年度の私どもの定期演奏会でプログラム中に貴会の活動にふさわしい曲を加え、ドナー経験者のお話をいただいたり、ロビーにパネルを展示していただいたりして、貴会のご協力の下、微力ながら活動を続けさせていただいている次第です。

(東京学館船橋高等学校 吹奏楽部顧問 小野木宏先生より投稿頂きました)



パネルを見る人々



ボランティア・会員募集 TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髓バンク＝登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくなったら、お気軽にご連絡ください。

登録会報告

君津市保健福祉センター 2月13日(月) 説明員：西島隆・一

君津市保健センターの登録会は地元ということもあり、毎回のように参加させていただいているが、だんだん規模が大きくなり2月13日の登録会は日赤さんが3チームを出す体制をとり160名強の受付を数えた。従って、ドナー登録も毎回2桁を記録している。ここの特徴はライオンズ、赤十字奉仕団の支援が質量ともに強力だということ、今回は約30名のサポーター参加と甘酒のサービスなど決め細かである。

また、献血リピーターへのネットメール(以前に7000名と聞いている)連絡も効果的であるとみる。さらに、センターの担当者が熱心であり、会場が広く開放されていることも大きい。骨髓バンクへの関心も大きく、先般は地元の要請で梅田会長が君津市献血推進協議会に出席されました。わたしもこんな環境の中で皆さんとの「つながる」を大事にしようと思い good communication に努めています。(西島隆)



登録 10名
説明 6名



(65歳以上は60~64歳に献血経験のある人のみ)※1980~96年に欧州滞在歴のある人は断る場合あり。18~54歳の方は骨髄移植のためのドナー登録も可
市献血推進協議会(社会福祉室内)

↑ 掲載記事実物

登録 1名
説明 1名

京成津田沼駅南口・ロータリー 2月21日(火) 説明員：円東、山本栄

習志野市献血推進協議会主催で日赤奉仕団の方7名が呼び込みをされました。市の担当の方もお見えになりました。

市の広報に、献血実施の他に骨髓バンクの登録も出来ますと掲載されていました!

今日は風が猛烈に強く、テントが吹き飛ばされそうになり午後からは急遽隣接の市の仮庁舎2階に受付を移動しテントは撤去と相成りました。こんな状況ですので献血者も少なかったようです。

お昼に習志野市の建設中の新庁舎を見てきました。立派です! 来年はこちらでの登録会になるのでしょうか? (円東)

イオンモール木更津 3月11日(土)~12日(日) 説明員：11日西島隆・一、12日円東・熊倉正・照

君津プラチナライオンズ、木更津赤十字奉仕団の方々の応援がありました。隣のAホールでは高校制服の注文室になっていて、15歳の学生さんと親御さんが行き来していました。献血者にはガラポンのくじサービスがありました。(西島)

翌日、午前中はやはり人の出も少なく、ドナー登録者ゼロという状態でしたが、午後から人の通りも多くなると献血に来られる方が次第に増え、結果的には6名の方がドナー登録してくださいました。

今日時間が無くて登録できなかった方には献血ルームをご案内しているので、いずれ登録につながればうれしいです! (熊倉照)



11日 登録 5名
説明 1名

12日 登録 6名
説明 5名

我孫子市役所 3月29日(水) 説明員：山本栄、河口

午前中2回、午後1回館内放送がありました。日赤奉仕団の方々も頑張ってくださいました。午後に入ってから、市役所の方の働きかけで献血担当課の女性とともに3人でギフトオブライフを配りながら本庁舎、東・西別館の各課に挨拶とお願いをしました。その効果からか午後は少し献血者も増えてきたように思います。その中に、ドナー助成を推進したとおっしゃる男性職員の方がドナー登録にいらっしゃいました。ドナー助成のある市だけに広報誌に本日の案内が『献血、ドナー登録にご協力を』と書いてありました。全市区町村でも骨髓バンクドナー登録を取り上げて頂けたらいいのに、と思いました。(山本栄)



29日 登録 2名
説明 1名

その他の登録会報告	2月	登録者	説明受講	説明員
モリシア津田沼店	3日(金)	6人	1人	西島隆、一
モルルーちば駅ルーム	8日(水)	7人	1人	北村美、河口
三井住友海上火災保険	9日(木)	5人	0人	北村美、円東
ユニモちはら台	11日(土)	1人	5人	熊倉正、照
ユニモちはら台	12日(日)	1人	5人	円東、柴谷
JR新浦安駅前	12日(日)	11人	4人	西島隆、一
袖ヶ浦市保健センター	17日(金)	4人	2人	西島隆、円東
フルルガーデン八千代	18日(土)	0人	0人	円東、河口
イオンモール木更津	19日(日)	12人	0人	西島隆、一
モルルーちば駅ルーム	22日(水)	7人	1人	北村美、河口
イオンモール成田	25日(土)	7人	0人	北村勉、美
イオンモール成田	26日(日)	9人	4人	円東、河口

その他の登録会報告	3月	登録者	説明受講	説明員
睦沢町 農村環境改善センター	1日(水)	1人	2人	北村美、山本栄
鎌ヶ谷市役所	3日(金)	0人	0人	河口
多古町役場	6日(日)	4人	4人	北村美、円東
JR新浦安駅前	12日(日)	2人	1人	河口、志田
柏 献血ルーム	15日(水)	4人	2人	河口
茂原市 中央公民館	17日(金)	5人	0人	柴谷、円東
一宮町 保健センター	24日(金)	5人	1人	北村美、円東
野田市役所	27日(月)	0人	3人	河口
白子町役場	27日(月)	1人	1人	北村美、久永
富津市役所	28日(火)	7人	2人	西島隆、一
山武市 成東保健福祉センター	30日(木)	6人	0人	北村美、久永
白井市役所	31日(金)	2人	0人	柴谷
千葉県庁	31日(金)	1人	3人	円東、志田

県内ドナー助成制度活動報告

～習志野市、我孫子市、船橋市に続き松戸市、千葉市も助成制度導入～

松戸市にてドナー助成制度が始まります！

松戸市では、平成29年4月1日から県内で4番目となる、骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）に助成金を交付する「骨髄移植ドナー支援事業」を開始しました。

この事業は、ドナー休暇制度を設けている企業・団体に属していない方でドナーとなった市民の方に骨髄・末梢血幹細胞提供の為に通院及び入院1日につき2万円（上限7日）の助成金を交付するものです。

ドナー登録をして、白血球のHLA型が一致して骨髄・末梢血幹細胞提供者となった場合でも、経済的理由から、ドナーを辞退することがあると聞きます。日本では白血病などの血液疾患は、年間6000人くらい発病され、そのうち約2000人以上の方が骨髄・末梢血幹細胞移植を待っておられます。1人でも多くの骨髄・末梢血幹細胞移植の実現を図るため、ドナー登録をして提供者となった市民の方の経済補償として、市として奨励していくという考えから、本事業を導入しました。

今回、「支えあういのちと愛」4月号に掲載させていただくことにより、事業のPRになればと考えております。周知方法としては広報やホームページ掲載、各保健福祉センター等公共機関へチラシの配布を考えており、今後はイベント等でも周知を図り、啓発活動に努力していきたいと存じます。（松戸市役所健康推進課）

千葉市にてドナー助成制度が始まります！

平成29年4月1日より千葉市で骨髄ドナー助成制度の導入が決定し、大変うれしく思っています。

県内では習志野市・我孫子市・船橋市で助成制度が創設されており、政令市である千葉市でも創設して欲しいとの思いがあり、地元の近藤市議に協力を呼びかけました。市議からは4年前にも「命のボランティア（骨髄ドナー）に対する支援について」質問をされていたこともお聞きしました。

昨年より更に具体的な動きが始まりました。6月議会で骨髄ドナーの休暇制度・休業補償制度の取り組みをすべきと「骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書」が全会一致で採択され、国に提出されました。9月議会では近藤市議より「骨髄ドナー支援事業」について、他県の政令市等の導入状況を挙げ、千葉市でのドナー助成制度早期実現を要望する代表質問をして頂きました。傍聴に行きましたが、副市長より「1人でも多くの患者が移植に至るため、若年層の登録推進と普及啓発をしていくことが必要。又、ドナー助成制度の創設は登録者増加のために有効と考える。他市を参考に検討する」と前向きな答弁を聞くことができ、期待がもてました。

その後今年度の予算編成に対して市議が更に強く働きかけをして下さり、助成制度導入が決定となりました。制度の内容は「①ドナー提供1回につき10万円の助成。②若年層への普及啓発に予算を設ける」の2点です。

制度が施行され、ドナー登録増加の追い風となり、1人でも多くの患者さんへの移植が実現できることを願っています。又、県内他市での創設を念願し、活動を続けていきたいと思っております。（北村美）

桂右女助の骨髄移植推進に想う

昨秋、某高校でドナー体験を話した折、若者達の理解力に感心いたしました。あとは、いかにして機会を作るか？ではないでしょうか。

千葉テレビのコメンテーターを務めることになった時（2月13日）も、それを考えました。お役に立てれば幸いなのですが、直接の宣伝効果は期待していません。公共の電波の信用度を上記のような機会を得るために活用する、そのあたりが現実的だろうと思っています。

登録会でドナー候補を増やす活動は、今されている地道な方法が一番確実で近道でしょう。改めて敬服いたします。疑問なのは、バンク主導の広報活動です。

栄養と衛生に留意しつつも味と器は同じ「バンク定食」を、客層を問わず出している気がします。盛り付けだけでもお手伝いすべく、微力を尽くす所存です。（桂右女助）



嘶家、作家、の元ドナー

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナー経験者さんが骨髄提供に向けて登録者の不安に対応します。

（認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会）

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

（認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会）

会費納入のお願い

千葉骨髄バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。皆様のご支援とご協力をお願い致します。

※毎月開催している定例会に持参して頂いても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

年会費；3,000円（学生1,000円）

振込口座名 千葉骨髄バンク推進連絡会

口座番号 001607-6-54718

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2017年2月末日現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	469,900	+1172	+11,929	13,958	+176	+472
累計患者登録者数	50,368	+497	+3,070	1,958	+15	+114
累計移植例数	20,427	+190	+1,22	642	+11	+42

『瓢箪から白血病!?!』 第1回 献血してくれてありがとう!そして連載にまで~I.K.~ (全6回)

献血をしてくれた人、ありがとう!まず、何よりもそのことを感謝したいです。いろいろな病気で輸血を必要とする患者さんはいるかと思いますが、私の場合、「白血病」でした。最初の輸血は、意識がもうろうとしている中、救急で病院に担ぎ込まれてすぐに受けました。本人に意識がない間は、家族が本人に代わって「輸血に関する意見書」にサインして施術されます。当時の私は、地方公務員試験と民間企業の就職活動に明け暮れていました。ただ、何だか体が思うように動かない、それは自己怠慢だ、と思いきや、大きな斑点があちらこちらに現れ、真っ青になって母と内科を受診した。それが入院に至った経緯です。

今後、全6回にわたる連載では、白血病の時に描いた絵手紙と、短歌、カルテ記録やファミリーカンファレンスに基づいて、患者の立場からの骨髄移植について書いていくつもりです。

1997.11.5. (入院半年前) ああ哀し 彼の心は ここにあらず 知りつつさりとして 別れがたし



こいこいの 宇宙と地球の随想記 1st シーズン「星の巻」(全巻6シリーズ)

第1回 赤い星、黄色い星 ~星の色は何で決まる~

私が教壇に立っている地学教室は、学校の4階にあります。骨髄バンクに関わるようになってかれこれ20年。学校では、地球や宇宙について高校生たちに教えています。星にまつわる話題に、しばしお付き合いください。



夕方、職員玄関を出ると、南の空に冬の星座であるオリオン座が南の空に輝いています。左上のベテルギウスは橙色、右下のリゲルは青白く光っています。星の色は何で決まるのでしょうか。うなぎを焼く備長炭は約800℃。溶鉱炉から流れ出る鉄は約1500℃。温度が高くなると、物質の種類に関係なく温度に応じた光を出して光り始めます。同様に、橙色のベテルギウスは約3500℃、淡黄色の太陽は約6000℃。そしてリゲルは12000℃もの高温です。ちょっと味気ない気もしますが、逆にロマンチックな星空に潜む冷徹な物理法則に、宇宙の神秘を感じるような気もします。たまには夜空を仰ぎながら、遠い宇宙に思いをはせてみるのもいいですよ。(H.K.)

今後(4~5月)の予定(お知らせ)

ドナー登録会

- ・4月10~14日 千葉大学
- ・4月10日、11日 千葉工業大学
- ・4月12日、17日 日大 生産工学部
- ・4月22日、23日 イオンモール木更津
- ・5月3日~5日 幕張メッセフリーマーケット

その他

- ・4月15日 骨髄バンクドナー推進イベント in ZOZO マリンスタジアム

定例会予定

日時 5月7日(日) 13:00~

場所 船橋市勤労市民センター 第2講習室



編集から

2000年海の日の翌日にドナーになりました。その後、旧財団の紹介で10月から千葉のボランティア活動に参加し16年半になります。

その頃、千葉県・日赤千葉・各市役所に献血併行登録会のお願いに行っても相手にされず、今まで地道に活動を続け、献血併行登録会、ドナー助成制度も順調に前進しています。

自分が活動を始めて、新会員も少なく会員の平均年齢も15歳位上がり、高齢化が問題になっております。今後の課題として、県・各市役所でドナー助成制度が制度化されれば、ボランティア活動の在り方を検討する必要があるのではないのでしょうか?

自分は、2020年で丁度ボランティア活動20年ですので、20年までは活動を続けていこうと思っています。(遠山)

総会のお知らせ

年1回の総会を下記日程で開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

日時:平成29年5月7日(日) 15:00~16:30

場所:船橋市勤労市民センター 第2講習室

※総会后、懇親会を開催します。懇親会のみ参加、大歓迎



心からの寄付、ありがとうございます

岡本雅代様 3,000円

笹森広夫様 20,000円